

天理市埋蔵文化財センターだより

Vol.23

平成27年度発掘調査速報展

平成28年度冬の文化財展

平成29年
2月4日(土)~
3月5日(日)

〔会場〕
天理市文化センター
〔主催〕
天理市教育委員会

下ツ道

ー京奈和道のご先祖さまー

◎平成28年度冬の文化財展

第Ⅰ部 平成27年度発掘調査速報展

第Ⅱ部 下ツ道ー京奈和道のご先祖さまー

平成29(2017)年2月4日(土)~3月5日(日)

※ 9:00 ~ 17:00

※月曜日、2月11日(土・祝)は休館

会場：天理市文化センター1階展示ホール

◎文化財講演会

会場：天理市文化センター1階展示ホール

日程：平成29年3月5日(日) 14:00 ~ 16:30

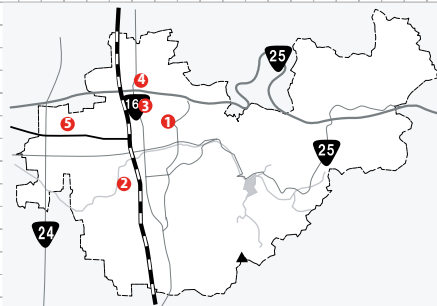
天理市内には、原始・古代から近現代に至る数多くの文化財が所在します。天理市教育委員会文化財課では、平成18年度より夏と冬、年2回の文化財展示をおこない、市内の文化財と市の歴史について理解を深めていただけるよう努めています。

今回は平成28年度冬の文化財展特集として、平成27年度に天理市教育委員会がおこなった5件の発掘調査成果と、奈良盆地の中心部を南北に縦断する古代官道「下ツ道」について、最新の調査研究成果をご紹介します。

第Ⅰ部 平成 27 年度発掘調査速報展

天理市教育委員会文化財課は市内遺跡を対象とした発掘調査を実施しています。今回は平成 27(2015) 年度におこなった5件の発掘調査の成果をご紹介します。

- ① 豊田狐塚古墳 ② 田町遺跡第 2 次 ③ 薬師遺跡第 2 次
④ 柿本寺跡第 6 次 ⑤ 小路遺跡第 8 次



豊田狐塚古墳

とよだきつねづかこふん ①



都市計画道路別所丹波市線事業に伴う発掘調査で、昨年の豊田トンド山古墳に続いて調査を実施し、新たに横穴式石室を発見しました。古墳は石上・豊田古墳群の南端に位置し、布留遺跡を見下ろす高台にあります。

石室内は江戸時代頃に盗掘を受けたことがわかっていますが、鏡・馬具・鉄刀・鉄鏃・玉類・須恵器・土師器など豊富な副葬品が残されていました。6世紀中頃に造られた古墳と考えられます。



獣像鏡



玉類



横穴式石室 玄室長 4.4 m

期間 平成 27 年 12 月 21 日～
平成 28 年 6 月 30 日

田町遺跡 第 2 次

たまちいせき ②



期間 平成 27 年 4 月 15 日～
平成 27 年 4 月 22 日

店舗建設に伴い田町で調査を実施しました。現地は不安定な湿地帯で、古墳時代の土器は出土したものの遺構などは確認できませんでした。調査地の西側では安定した微高地の上に古墳時代の掘立柱建物群が見つっていますが、調査地付近は微高地から外れていたことがわかりました。

薬師遺跡 第 2 次

やくしいせき ③



期間 平成 27 年 8 月 17 日～
平成 27 年 8 月 29 日

宅地造成に伴い石上町で調査を実施しました。平安時代以降の溝、土坑を確認したほか、土師器・須恵器・瓦質土器・瓦などが出土しました。



調査風景

柿本寺跡 第 6 次

しほんじあと ④



期間 平成 27 年 10 月 7 日～
平成 27 年 10 月 21 日

公民館建設に伴い櫛本町で調査を実施しました。奈良時代の井戸、柱穴等が見つかり、「毛」と墨書した須恵器など土器類が多数出土しました。



奈良時代の井戸

小路遺跡 第 8 次

しょうじいせき ⑤



期間 平成 28 年 2 月 10 日～
平成 28 年 2 月 22 日

道路建設に伴い小路町内で発掘調査を実施しました。調査地は小路遺跡の東端にあたり、遺構・遺物の分布は希薄でした。



調査風景

第Ⅱ部 しもつみち けいなわ 下ツ道—京奈和道のご先祖さま—

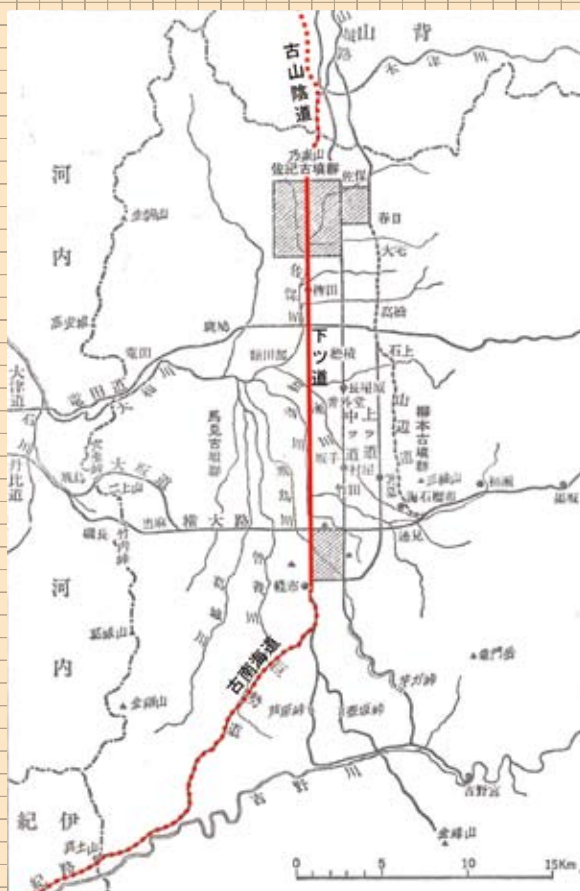
天皇中心の国家形成が進んだ飛鳥時代前半（6世紀末～7世紀半ば）、中央集権政治を実行するためのインフラとして、全国的な道路網（官道）の整備がはじまります。

古代の官道 “しもつみち下ツ道”

当時の“首都圏”であった奈良盆地には、南北に3本、東西に2本の官道が設けられました。下ツ道は南北方向の3本の官道のうち最も西側に位置し、奈良市佐紀町（平城宮跡の復元大極殿付近）から天理市の西端をかすめて橿原市見瀬町・大軽町（丸山古墳付近）までを一直線に貫いています。建設時期については諸説ありますが、早ければ6世紀末、遅くとも7世紀半ばには完成していたと考えられています。

下ツ道の経路

下ツ道の北端から北は、「歌姫越え」で奈良山丘陵を越え、木津川左岸を北上して大山崎経由で丹波（現在の京都府北部）を目指す「古山陰道」に続いていました。また南端から南は、高取や五條を経由して和歌山方面を目指す「紀路（巨勢路、古南海道）」が続いており、やましろ山背・大和・紀伊の3国を結ぶという意味では現代の京奈和自動車道と似た道路だったようです。



大和の古道（岸 1970 に一部加筆）



八条北遺跡 下ツ道（北から）

下ツ道の発掘調査事例

天理市内でも京奈和自動車道や郡山下ツ道ジャンクションのほか、二階堂小学校プールの建設に伴う発掘調査などで道路の側溝が見つかっています。その成果によれば天理市付近の下ツ道は路面の幅が16 m前後で、現代の都市計画道路（天理北大路線など）とほぼ同じ規模でした。さらに両側には側溝が設けられ、なかでも東側溝は幅が10 m以上もあり、これも天理消防署付近の布留川北流に匹敵する規模で、運河として使われていたとする説もあります。



八条遺跡第3次調査 下ツ道東側溝（南から）



八条遺跡第1次調査 下ツ道西側溝（北から）

京奈和自動車道・郡山下ツ道ジャンクションの建設に伴う発掘調査（画像提供：奈良県立橿原考古学研究所）

下ツ道の建設年代

下ツ道がいつごろ造られたかははっきりわかりませんが、今のところ大きく分けて3つの説があります。

◆7世紀半ば説

『日本書紀』に、653年に「処々の大道を修治る」とあり、672年には壬申の乱で下ツ道が戦場になったとする記事も見えることから、7世紀半ばに建設されたと考える説。

◆7世紀前半説

『日本書紀』に、613年に「京より難波に至る大道を置く」と難波大道（横大路）の敷設記事があることから、ほぼ同時期に下ツ道も整備されたと考える説。

◆6世紀末～7世紀初頭説

奈良市内の発掘調査で、下ツ道東側溝の底面に密着して、6世紀末～7世紀初頭に作られた須恵器の坏蓋が完形で出土したことから、この須恵器を下ツ道の建設年代の手がかりと考える説。



二階堂小学校プール建設に伴う発掘調査



二階堂小学校の発掘調査で出土した遺物

出動！ 発掘現場レポート!!

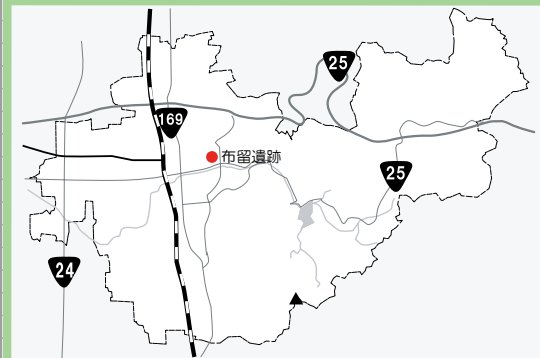
平成28年度上半期の調査

天理市教育委員会は平成28（2016）年度上半期に発掘調査を1件実施しました。ここではその成果をいち早くお知らせいたします。

■布留遺跡群第35次

天理教母屋建設に伴い、布留町で発掘調査を実施しました。現地は布留川に臨む集落南端の祭祀域に当たり、古墳時代中期の高坏や小形丸底壺などを出す祭祀遺構などが見つかりました。

平成28年度の調査成果は
来年度の文化財展で
展示するよ！



■平成28年度上半期の調査遺跡



■布留遺跡群第35次
遺物出土状況

「大和神社ちゃんちゃん祭り」の民俗調査を実施しています

毎年4月1日におこなわれるこの祭りは、朝和小学校区9ヶ大字の頭屋が数百年にわたり継承してきた神幸祭で、中近世の名残を留めた貴重な民俗行事です。天理市教育委員会は平成26～29年度の計画で民俗調査を実施しています。



田原本町 唐古・鍵考古学ミュージアム 春の展示予定

平成29年度 春季企画展『弥生遺産V 同時開催 たわらもと発掘速報展2017』
期 間：平成29年4月22日（土）～5月28日（日） ※休館日があります。
会 場：唐古・鍵考古学ミュージアム 田原本町生涯学習センター2階 TEL：0744-34-7100
天理市埋蔵文化財センター・田原本町埋蔵文化財センターは文化財展示を連携して実施しています。

※「天理市埋蔵文化財センターだより」Vol.24は平成29年度夏に発行予定です。
お楽しみに！

このセンターだよりは「大和まほろば広域定住自立圏」の「文化財の保護及び利活用の推進」の一環として作成しました。

発行◆天理市教育委員会文化財課
天理市埋蔵文化財センター
〒632-0017 奈良県天理市田部町320
Tel・Fax 0743-65-5720
印刷◆